



聖徒のための情報誌

今月号の内容

大聖人様身延ご入山(1面)
教学・霊断法解説講師合同
研修会、全国支部長会議
日蓮大聖人の歩まれた道
よろこび佛教語解説(2面)
法華経のお話⑫(3面)
よろこび法話(4面)

平成24年(2012年)6月1日(金)

6月号

発行所
〒873-0002
大分県杵築市南杵築1539番地
妙経寺内

日蓮宗霊断師会

会長 新聞 智雄
日蓮宗霊断師会事務局
電話 0978-62-3570
FAX 0978-62-3571

編集人 松本 恵昌
購読料 1部 105円
毎月1回1日発行

日蓮宗霊断師会ホームページ
http://www.yorokobi-reidanshikai.jp
よろこび投稿メール
yorokobi@yorokobi-reidanshikai.jp

第四十七回全国結集身延大会
5月12日・13日



千燈供養会「絆のともしび永遠に」/5月12日



内野日総法主祝下の御経頂戴を賜る/5月13日



大本堂行事で大導師をお務めになる新聞智雄会長/5月13日



身延山久遠寺大本堂に集う聖徒の方々/5月13日

毎年六月、身延山では日蓮大聖人ご入山の大法要・開闢会が盛大に営まれます。御年五十三歳のご入山でしたが、それまでの大聖人様のご生涯は、まさに命に及ぶ法難の連続でした。
大聖人様が三十二歳の「立教開宗」より身延ご入山に至るまでの間、お命をも省みず教主釈尊の留め置かれた真実の教え『法華経』と『御題目』の信仰を宣布されたのは、私達の心が乱れ、正しい事柄が素直に受け入れられない今の時代を正しく生きる為であり、私

達を苦しみから救う為でした。身延ご入山後の大聖人様は、九ヶ年の間、昼夜に心安く法華経を誦読されると共に、御自身亡き後の世を担う弟子・信徒を育成する為に、法華経の真髓を伝授することにと全精力を傾けられ、六十一歳を今生の一期として、その御生涯を閉じられたのでした。
『教主釈尊の一大事の秘法を霊鷲山にして相伝し、日蓮が肉団の胸中に秘して隠し持てり。されば日蓮が胸の問は諸佛入定の処なり。舌の上は転法輪の所、喉は誕

生の処、口中は正覚の砌なるべし。かかる不思議なる法華経の行者の住処なれば、いかでか霊山浄土に劣るべき。法妙なるが故に人とうと(貴)し、人とうとが故に、所たつと(尊)しと申は是なり。(中略)かの月氏の霊鷲山は、本朝この身延の嶺なり。』『上野殿御返事』
先月五月十二日、十三日の両日、

九識霊断法を心の拠り所として俱生神月守を着帯する私達聖徒一人一人が、全国各地に於いて御題目の神秘の光を輝かし、縁ある方々に御題目信仰をお勧めする。その信行こそが、「幸福」への道であり、大聖人様の大恩に報いる事と成るのです。
イラスト 小川けんいち



日蓮宗霊断師会伝道局局長
福山市 常國寺聖徒団团长

濱田 壽 教

大聖人様
身延ご入山
日本の霊鷲山・身延山は、
霊山浄土、法華経の行者所住の処



身延山に於いて「第四十七回全国結集身延大会」が盛大に開催されました。

九識霊断法の神秘を体験し、俱生神月守を着帯する聖徒の皆さんが全国各地より一堂に集い、大聖人様が「教主釈尊が法華経をお説きになられたインドの霊鷲山にも劣らぬ聖地である」と仰せになられた棲神の霊地・身延山に結集し、声高らかに御題目をお唱えして、報恩感謝の誠を尽くされたのです。

大聖人様の御魂が棲む身延山は、インドの霊鷲山であると共に、本佛・教主釈尊の住み給う霊山浄土に他なりません。そして今、御題目を唱える私達聖徒一人一人の胸の中にも、一大事の秘法である尊い御本佛が住み、喉からは諸佛諸天が誕生し、御題目に守護される日常生活を送ることができるようだと、右の御文章はお示し下されています。

津軽宇田山 閻法寺



毎朝 5時半より「朝勤祈禱会」
6月24日(日)
「七面天女大祭」
毎月 第2土曜日
午後3時より「唱題修行」
〒030-1403
青森県東津軽郡外ヶ浜町平館元宇田52-2
TEL. 0174-25-2712
住職 工藤 堯幸
副住職 工藤 堯慎・修徒 工藤 堯顯

日蓮宗
東光山妙正寺 聖徒団



妙正寺聖徒団 小川けんいち
お米を作っています
旭川FMリベールFMラジオ
「マダムケロコ」のちよっと長巻
6月6日、18日午前11時より
開闢上人出演中
6月23日(土)午後7時 宗祖日蓮大聖人御会式 御遠夜法要
6月24日(日)午前11時 宗祖日蓮大聖人第73回忌御会式法要
関美和子婦人第3回忌法要
盛運祈願会
毎月1日午前10時
妙正寺聖徒団 团长 関 龍雄
〒071-1423
北海道上川郡東川町東町2丁目6-3
TEL 0166(82)2714
FAX 0166(82)2914



いかされるよろこび
美濃乃國
常唱寺 聖徒団
〒501-3734
岐阜県美濃市千畝町2738-2
TEL/FAX 0575(33)1430

本山 妙顕寺
佐野 日蓮大聖人御真骨奉安



齊藤日軌貫首著
「日蓮宗の戒壇、その現代的意義」
国書刊行会
CD「感謝百万遍陀羅尼」好評発売中!
「ないないブルース」
〒327-0843
栃木県佐野市堀米町264
TEL 0283-22-1524
FAX 0283-22-4194
http://www.sano-myokenji.jp



日蓮宗霊断師会会長
感通寺聖徒団团长
新聞 智雄
〒162-0044
東京都新宿区喜久井町39
TEL 03-3209-8782
FAX 03-3208-7966

# 平成二十四年度「全国支部長会議」を開催

四月十九日、二十日の両日、日蓮宗霊断師会・平成二十四年度「全国支部長会議」が、愛知県名古屋市中・名古屋クラウンホテルを会場に開催された。

第一日目は、天野組織局長の開会宣言の後、新聞会長より「日蓮宗霊断師会の抜本的刷新を行い、個人の意向に左右されない組織づくりを行う。その上で祖道興隆、宗風宣揚を図る」との力強いご挨拶を頂いて議事進行。

建総局長より総局事業、齊藤総合研究所長より総合研究所事業報告がなされ、次に第五十回「理事会」決議について近藤理事会副議長より「霊断師会体制の刷新を図り、宗門の枢要たる新生日蓮宗霊断師会への出発の年にする」とのご報告を頂いた。

また、今年度の各布教区会議の説

明、日程調整をおこなうと共に、当会議は本部事業の円滑な遂行及び布教区・支部の活性化を図るだけでなく、組織刷新の趣旨・概要・タイムスケジュールを説明する重要な会議となるとの説明があった。



新聞智雄会長のご挨拶

第二日目は、最初に平成二十四年度指針説明、事業大綱・各事業説明等があり、質疑応答の後、日蓮宗霊断師会第四十七回「全国結集身延大会」並びに第三十三回「日蓮宗霊断師全国大会」に向けてのご挨拶があり、全日程を終了した。

今「支部長会議」は第五十回「理事会」に於いて決議された「管区霊断師会を全国的に立ち上げ、組織刷新の第一歩とする」為、各支部長に本部の意向を伝達する非常に意義深い会議であり、支部長各聖から今後の霊断師会の在り方、支部としての活動・行動について沢山の質問・提案が出される、非常に白熱した会議となった。

会議参加の面々は、新生霊断師会の尖兵となり不借身命の気構えで組織刷新・霊断布教に励むべく、気持ちを新たに散会した。(記事・後藤)

## 教学・霊断法解説講師合同研修会を開催

去る四月十八日・十九日、本部「教学講師・霊断法解説講師合同研修会」が、名古屋クラウンホテルを会場に、二日間の日程で開催された。

今回の研修会は、人材育成を兼ねた内容で、今後を期待される講師候補、新進気鋭の若手霊断師も実習に参加し、実に三十一名の参加者を見た。

第一日目には、総合研究所・石黒泰良霊断法研究部長が、正しい霊断法の解説を全国霊断師に伝え

ていくことの重要性を中心に、様々な悩みに対する適切な指導を講義。

第二日目は、総合研究所・小泉輝泰教学研究部長が、「二大秘法」をテーマとして、大聖人が以信得入された寿量御本佛の全容について講義した。

教学・霊断法それぞれの実習では、自身の霊断法を通しての体験(色読)を言葉にして伝えることの重要性を念頭に、次代をこなう法器養成を目指した研鑽がおこな



研修会の模様

われ、新緑の季節に相応しい若き息吹が漲る研修会となった。

## 第十三回 よろこび佛教語解説



総合研究所・霊研主任 新聞 信應

### 『法華七諭』

今月からは『法華七諭』についてのお話です。「ほつけしちゆ」と読み、また「七譬・しちひ」ともいいます。その名の通り、皆さんが普段読まれている『妙法蓮華経』つまり『法華経』の中に出てくる

- ① 三車火宅の諭(譬諭品)
- ② 長者窮子の諭(信解品)
- ③ 三草二木の諭(葉草諭品)
- ④ 化城宝処の諭(化城諭品)
- ⑤ 衣裏繫珠の諭(五百弟子受記品)
- ⑥ 譬中明珠の諭(安樂行品)
- ⑦ 良医治子の諭(如来寿量品)



この七つの諭えは、大変難しい法華経の教えを私たちの能力にに応じて理解させるために、お釈迦様が諭え話を用いて分かり易く説かれたものです。この七つの譬諭を通して、法華経の中でも大切な「二乗作佛(どんな人でも必ず佛として生きる事が出来る)」と「久遠実成(私たちの命は久遠(永遠)の佛と同じ命

であり、生まれ変わり死に変わりして永遠に生きている)」の二つの教義が示されているのです。一つ一つの諭えは次号からご説明しますが、なるべく難しくならないように心掛けてお話ししますので、共に勉強していきましょう。

イラスト 小川けんいち

## 第十四回 日蓮大聖人の歩まれた道

### 清澄寺ご入山(その六)



総合研究所 教学研究部長 小泉 輝泰

(上皇の下す命令)なのですが、時勢を楽観視していた朝廷側の思惑に反し、この院宣はまったくと言ってよい程その効力を発揮しませんでした。今や落ち目となった朝廷側に与する武士はほとんどなく、圧倒的な勢力の鎌倉方に返り討ちとなってしまうのでした。

この承久の乱より程なくしてお生まれになった日蓮さまは、かつて乳母雪女によって施された帝王学とも言える高等教育の中で、当世の世情、殊に公武の争いの有様を纏々お聞きになったことでしょう。人心は乱れ道理の通らぬ末法の世への憤り、そして神佛が篤く守護する筈のこの国が、何故乱れゆくかとの深き疑問が、幼き日蓮さまの心中深くに刻まれていったことは間違いありません。

「隠岐の法皇は天子也。権の大夫(北条義時)殿は民ぞかし。子の親をあだまんをば、天照太神うけ給ひなんや。所従が主君を敵とせんをば、正八幡は御用ひあるべしや」(種々御振舞御書)

そして驚くことに、首謀者とされる後鳥羽上皇始め多くの皇族方が、流罪という大変厳しい処分を受けることとなったのです。武士が天子さまを流罪に処すなど、文字通り神をも恐れぬ所業、臣下が主君に仇を為すなど、本来あってはならぬことが、この後江戸の世に至るまで「下克上」

やがてその疑問への解決の道を求めるべく、清澄山を第一歩とするご研鑽の日々が始まるのです。それはまた、領家の尼を始め日蓮さまを支えられた多くの方々の、切なる願いを背負ったことでもありました。この清澄寺ご入山に当たって日蓮さまが抱かれた「所願」とは、ご自身はもとより、沢山の方々の思いが籠められた、末法救済の「大願」であったのです。



イラスト 小川けんいち

# 法華経のお話 12



総合研究所主任

塩入幹丈

## 無量義経の段 その十一

大轉輪王小轉輪王。金輪銀輪諸輪之王。

(無量義経德行品第二)

絶地・翻羽・奔霄・越影・踰

輝・超光・騰霧・扶翼の八頭の神

馬・穆王八駿を駆使し、黄河の大

地を高速で駆け巡ったと伝えられ

る周の穆王。

震旦の人々にとって幻の山と噂

された崑崙山すらも、八駿に牽か

せる馬車に乗れば、あたかも隣近

所に行くがごとし。

崑崙の地にて西王母(全ての女

性仙人を司る大仙女)と面会した

という穆王。

さらに彼は震旦の人々にとって

崑崙山以上に謎の土地、はるか西

方の印度、王舎城は靈鷲山へと八

駿のコースを取るのです…。

①東の王者は君だ!

大轉輪王、小轉輪王、金輪、銀輪、

諸輪之王の一人として、法華経説法

の場に駆け付けた周の穆王。

この時にお釈迦様は、多数の轉輪

聖王の中でも、特に印度からはるか

遠く離れた東の地より訪れた穆王

に、特に注目されたと伝えられます。



帝王の偈)です。

お釈迦様より直々の口伝を授けられた穆王は教えを深く胸に刻み、帰国した後、何人にも秘して明かさなかつたといひます。そう、ある一つの事件が王宮に起きるまでは…。

### ②英雄は美少年がお好き

王宮での穆王は菊慈童という名の美少年を常に侍らせ、殊のほか寵愛したといひます(すいません!ソクラテス・シーザー・劉邦・信玄・信長・家光等々と、キリスト教が広まる以前の国々は東西問わず、美しければジェンダーに拘らない英雄、賢者は多いものなんです…)。

穆王から目に入れても痛くないほど可愛がられた菊慈童。

しかしそれが気の緩みを生んだのでしようか、あるいは一人だけへの寵愛が、他の嫉みを招いたせいでしょうか、やがて菊慈童は王の枕を股越した不敬の罪を問われ、流罪の刑を受けることとなりました。

行き先は酈縣山。いまだかつて生きて帰ってきた者は一人もいないと

いう、絶望の流刑地です。

如何に大事な美少年とはいひ、王自ら刑罰の決まりを変えては臣下に示しがつきませ

ん。

泣く泣く菊慈童との別れを決意した穆王

は、せめてもの最後の手向けとして、それまで胸中に秘めて洩らさ

なかつた、あの四海領掌の偈を密かに教え伝えるのでした…。

③霊水の水源をさぐれ!

千年も一瞬の光の矢。薄幸の美少年が流罪されてから、時は流れて一

千年。

周王朝もやがて滅び、秦帝国、前

漢帝国、新帝国、後漢帝国と震旦の

支配者もその間に目紛しく変わり、

やがて魏・呉・蜀の三国が覇権を競

う世、震旦歴史上最も人気のあるだ

らう、お馴染み三国時代でのこと

です。

あの三国志演義の悪のヒーローた

る曹操の国・魏において、ある不思議

なる噂が広まっています。

酈縣山という険しい山から流れ出

ている水を飲んだ人々の間で、「病が

治った!」「元気がなった!」「長生き

したよ!」と喜びの声が湧き上がっ

ているというのです。

まさか霊水の流れるパワースポッ

ト。噂の大きさに興味をもった文帝

(曹操の息子です)は、霊水の秘密

を探るべく、調査隊を酈縣山へと派

遣するのです…。

④霊水の深山に謎の美少年を見

た!

勅命を受け、水の流れを遡り、深

く険しい山中へ踏み込んでいく調査

隊。

そこで彼らが発見したのは、古び

た妖しき庵。それも廃墟ではなく、

あきらかに人の生活している気配!

人の住めぬはずのこの山中に何者

ぞ!といぶかしむ一行の前に姿を現

したのは、異様に謎めいたオーラを

まとった妖しき美少年。

少年の姿形でありながら、少年特

有の若さや幼さは微塵も感じさせ

ず、逆にどんな長生きした古老も及

ばない威厳風格が醸し出され、その

ミスマツチが姿形の美しさを人外の

ものへと昇華しています。

果たして人か?神仙か?はたまた

魑魅魍魎か?

ますます困惑を深める一行に対し

て、謎の美少年はさらに驚くべき話

を語り出すのでした。

我はかつて周の穆王に仕えた菊慈

童なりと…。

イラスト 小川けんいち



## 俱生神月守・靈断法のご案内

◆人にはみなそれぞれ「人生」という道がある。しかしその道の先はよくは見えず、地図もない。この先には大きな河が横たわっているかも知れず、大岩が障害物となつているかもしれない。人は誰もそれに気づかず「今」のみを飄々と歩く。そして河に阻まれ打ちひしがれ、大岩を前に愕然とする。◆私たちが日蓮宗聖徒団には九識靈断法という秘法があります。◆これは俗に言う占いの類とは違い、日蓮大聖人のお教えから生まれた有り難い秘法です。◆カーナビのように河や大岩など人生の中で進むべき道を阻む障害物を見通し、その迂回路を指し示し目的地へと導いてくださいます。人事万般なんでもご相談ください。◆また聖徒団には俱生神月守という不可思議な御守があり、河の前には橋となり、大岩の前には梯子となり、困難を乗り越える力となつて護つて下さいます。◆難病を癒す不思議な護符もあります。◆充実した人生を歩むため、最寄りの聖徒団のある寺院、教会、結社へお出かけください。

# よろこび法話

## 生かされる生命のち



総合研究所教学研究部主任  
和歌山県海草郡紀美野町  
龍光寺聖徒団团长

松森 孝雄

命はかぎりある事なり。すこしをもどろく事なかれ。

『法華証明鈔』

「命日」といえば、「亡くなった日」のことを言います。「亡くなった日」があるということは「生まれた日」があるということ。私が生まれてくる為に必ず両親がいて、その両親にもさらに両親がいて……三十代遡るだけで二十億人以上の親（先祖）がいます。その命の流れが一度も途切れることなく今の私に繋がっているのです。現在の日本の人口は一億三千万人程でしょう。



たった一億人ですら、毎日のように事故があり窃盗があり、自死もあり他殺もあります。二十億という数の先祖の中にはやはり多くの事件があったことは容易に想像できます。

その流れを汲んでいる私の中にはそれらの全てが受け継がれているのです。私たちは自分とは別のところに「先祖の命」を想定し、その先祖に手を合わせ供養していますが、実は自分の中にこそ「先祖の命」は息づいているのです。

中には他人の物を盗んで食べないと生きていけなかった先祖もいるでしょう。もちろんそれは「悪」でありますが、その「悪」があったからこそ生きながらえ、私の命につながっていることを思うと複雑な気持ちになります。

昨年、未曾有の震災がありました。避難所で知り合ったことがきっかけで新しい命が誕生したというニュースもありました。

た。その新しい命の子孫は震災があったからこそ生まれてくるのです。過去にも数多くの震災や戦争があり、それらは非常に悲しく辛い出来事ですが、私たちはすべての「事件」の中に生かされている命なのです。

『懺悔文』の中には、数多くの「罪」が説かれ、その罪を悔いるために拝読してまいります。

親の立場、子の立場、夫の立場、嫁の立場など、それぞれの立場で懺悔すべき事柄があり、「今の自分の立場」を当てはめて懺悔文を読んでまいります。

先づ、先祖の命をすべて受け継いでいる命である私は、すべての立場において懺悔し、感謝の気持ちをもって拝読すべきなのです。その懺悔は私だけの懺悔ではなく、先祖の背負った罪の懺悔でもあるのです。

私たちは、ひとり突如として現れたのではなく、過去の「因」をもって「果」としての今を生きています。そして今の私を「因」として「果」としての子孫に受け継がれていくのです。その線は一本ではなく、世界中の誰一人として欠けることなく、多くの線が複雑に絡み合っており存在しています。そこに気づくと、私たちは生きているのではなく、生かされていることに気づきます。そして生まれて来た日、誕生日は「命を頂戴した日」でこれもまた「命日」なのです。

誕生の「命日」と亡くなる「命日」の両方を大切にすることによって、「いま」という時間を生きている私たちが何をすべきなのかが見えてきます。

日蓮大聖人はそれを端的に「されば先ず



臨終の事を習うて、後に他事を習うべし』  
『妙法尼御前御返事』と仰せになっておられます。

私が生まれて来たとき、自分はオギャーと泣いて、周りは幸せの笑顔に包まれました。死ぬときはその逆、自分は笑って、周りが悲しみの涙で溢れるような最期を迎えられる「生き方」が理想です。自分が最期に笑えるということは、それだけ人生を一生懸命生きてきたという証。周りが泣いて下さるということは、それだけ周りの方々との縁を大切にしてきたという証。その最期を念頭におくことによつて、「今」の生き方を考えるきっかけにしたいものです。

そして、その「今」をしつかりと見守ってくださっている御本佛様や俱生神様への感謝も忘れてはなりません。私たちは願い事をして手を合わせますが、その後の感謝のお礼を忘れがちです。願いつばなしではなく、感謝の気持ちを次への原動力として充実した人生の第一歩を積み重ねていかなければなりません。

懺悔と感謝。この二つを常に心がけ、笑顔溢れる毎を送りましょう。

イラスト 小川けんいち

**砥森山 法華寺**

生きて救われの道場

住職 阿部 是秀  
副住職 阿部 是眞

〒028-0304  
岩手県遠野市宮守町下宮守31-69-1  
電話 0198-67-3166  
FAX 0198-67-2227

**正立山 妙法寺番神聖徒団**

团长 新聞 信應

毎月1日 10時  
盛運祈願祭

お困り事はすぐ相談

神秘秘密の扉が開く時、必ず利益がいただける。

〒690-2404 鳥根県雲南市  
三刀屋町三刀屋1169  
TEL 0854-45-3657  
FAX 0854-45-3666

安房乃國隨一  
三十番神祈願道場

**顕本寺聖徒団**  
团长 小泉 輝泰

「1人で悩まず、まずは相談」  
〒295-0002  
千葉県南房総市千倉町川合690-1  
TEL 0470-44-1062  
FAX 0470-44-1524

信用第一の専門店

◇格調高い関東風仏具◇

宗務院指定

仏壇・仏具 仏像彫刻  
内陣荘嚴具 設計製作

**(株)中野三佛屋**

東京都台東区寿2丁目7の12  
電話 03(3843)6951  
FAX 03(3843)6973  
定休日 日曜日

手描絵、機械絵、冊子、  
広告、絵画、写真集、  
神絵、名刺、葉、

**Syoumukou**  
株式会社 昇夢虹 (しょうむこう)

〒078-8801 北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1番6号  
TEL (0166) 68-2004 FAX (0166) 68-2005  
<http://syoumukou.com>  
info@syoumukou.com